「令和４年度小学生すくすくテスト実施業務」企画提案公募に関する質問・回答

大阪府教育庁　市町村教育室　小中学校課　学力向上グループ

ワーキングチームについて

Ｑ１：　ワーキングチームの専門家は、すべて弊社で選定するのでしょうか。それとも、大阪府教育庁や教育委員会が推薦される専門家も含めての構成となるのでしょうか。また、仕様書に示されたすべての分野の専門家をそれぞれ設定する必要があるのでしょうか。

Ａ１：　ワーキングチームの専門家については、仕様書に示されているすべての分野の専門家を設定する必要はありません。選定いただける専門家の方を提案してください。

専門家の決定にあたっては、採択後に大阪府と詳細を協議します。

Ｑ２：　ワーキングチームの開催方法は、大阪で対面で行うのでしょうか。オンライン会議でも可でしょうか。

Ａ２：　基本的には、大阪の会場で対面での開催を予定しています。ただし、オンラインでの参加も可能と考えています。

Ｑ３：　ワーキングチームは、一同が集まって行うのではなく、教科ごとなど課題別の開催と考えてよいでしょうか。

Ａ３：　ワーキングチームの運営については、問題の作成等が円滑に進むような提案をしてください。

問題作成について

Ｑ４：　問題作成に関して、作成時に問題の要素などの基準は大阪府側から示していただけるのでしょうか。それとも、ワーキングチームにおいて基準作りから行うのでしょうか。

Ａ４：　問題作成については、令和３年度小学生すくすくテストの問題作成方針をもとに進めます。

児童・保護者向けの個人票について

Ｑ５：　「小学校５年生から中学校３年生になるまでの調査結果から学力の変化等がわかるもの」とありますが、今回は小学校５年生と６年生の学力変化を示すという理解でよろしいでしょうか。

Ａ５：　その通りです。

経年の学力変化の把握・分析について

Ｑ６：　令和３年度と令和４年度のすくすくテストの学力結果をつなげるために、令和３年度において児童一人ひとりにユニーク番号（大阪府全体で一人ひとりに割り振った番号）を振って管理されているのでしょうか。また、各児童の令和３年度の結果については、ＣＳＶファイルで提供いただけるのでしょうか。

Ａ６：　令和３年度小学生すくすくテストで児童一人ひとりに個人番号を割り振って管理していますので、その結果データを提供いたします。

Ｑ７：　全国学力・学習状況調査で実施したデータについても、上記と同様の番号が児童に割り当てられ、その結果をＣＳＶファイルで提供されるのでしょうか。

Ａ７：　小学校６年生については、令和４年度の全国学力・学習状況調査のデータを提供しますので、令和４年度の小学生すくすくテストの結果データとつなぐ仕組み（システム等）を提案してください。